

「<資産運用コンサルティングのポイント Vol.9 ～盛り上がるETF市場、知っておきたい メリットと活用方法について～前篇～>」



株式会社 ZUU の富田和成です。今回からは、残高が急上昇し資産運用の重要な選択肢として注目が集まるETFについてみていきたいと思います。

○分散投資といえばETF?…日銀の買い入れでも注目

2014年10月31日、日銀は金融政策決定会合にてサプライズの追加金融緩和を発表した。これまで、年60兆～70兆円のペースで増やすとしていたマネタリーベース（資金供給量）を、約80兆円まで拡大すると発表した。あわせて、上場投資信託（ETF）と不動産投資信託（REIT）の保有残高をともにこれまでの3倍に増やし、それぞれ買い入れペースを年間約3兆円と年間約900億円に増やすと発表しています。

そういった後押しもあり、投資家の間では以前にも増して『ETF』に注目が集まっています。ETFの純資産総額は5年前と比較して約4倍にも拡大しており、証券会社も年々ETFのラインナップを拡充しており、かなり選択肢の幅が広がってきています。歴史を遡ると、1990年にカナダのトロント証券取引所で始まったETFは、世界で約5,000本程度、日本国内では130本程度が上場しています。リーマン・ショックなどの金融危機など市場急落時に、資金の退避先としても注目されたETFとはどういった商品なのでしょう。普通の投資信託とは何が違うのだろうかをみていきたいと思います。

○そもそもETFって何?

ETFは『Exchange Traded Fund』の略で、上場投資信託と呼ばれています。東証株価指数など特定の指数等の動きに連動する運用成果を目指し、東京証券取引所など金融商品取引所に上場しています。指数は株式だけでなく、上場不動産信託（REIT）や通貨、コモディティなど幅広くラインナップされており、国内だけでなく全世界に上場する多数のETFを通じて気軽に海外投資を行うことが可能になっています。

投資信託とインデックスファンドとの違いは、「インデックスファンドが上場しているもの」というイメージが正しいかもしれませんが。ETFもインデックスファンドも指数連動型の投資信託だが、インデックスファンドは1日1回しか取引ができません。しかし、ETFはそのインデックスファンドを、取引時間内であれば株式と同じように相場の動きを見ながら投資家の判断で何度も売り買いすることが可能です。

○ETFの種類について

日本で取引可能なETFは大別して2種類。1つは、国内で組成され国内の金融商品取引所（東証など）に上場している『国内籍ETF』。国内全ての取引所で売買が可能です。

もうひとつは、『外国籍ETF』とよばれるもので、国内の取引所にも上場しているが、大部分は海外の取引所に上場しており、一部の証券会社を通じて売買が可能となります。なお、『外国籍ETF』を売買する場合には為替の影響を考慮した取引判断が必要となります。

特に2年ほど前から日本市場でも登場したレバレッジ型・インバース型のETFが個人と海外投資家の間で人気を博し、売買代金の7割程度を占めるまでになっている。レバレッジ型は連動するインデックス、例えば東証株価指数が前日比+10%であれば、+20%となるETFであり小さな資金で大きな利益を狙えるタイプとなっている。一方、インバース型は連動するインデックスの逆数、例えば東証株価指数が前日比-10%となった場合+10%となるETFであり下落相場でも利益を狙えるタイプとなっています。

今回は、ETFのメリットや活用法についてみていきたいと思います。

<日税FPフォーラム>

税理士向け・新サービス提供開始。今後益々ニーズが増えると予想される税理士・会計事務所の資産運用コンサルティングを総合的にバックアップする「日税FPフォーラム」の提供を開始しました。詳しくは下記ページをご参照ください。

https://ssl.nichizei.com/nbs/modules/liaise/?form_id=14

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼 CEO

http://zuu.co.jp/company/ceo_message

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在とビジネススクールへの留学やタイへの駐在を経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。その後、野村証券を退職し、富裕層・準富裕層向けに金融を切り口としたZUU onlineや経営者向けにファイナンス情報を発信する経営者onlineを運営する株式会社ZUUを設立。資産アドバイザー向け資産管理に関する情報発信サイトZUU Advisors-Supportを運営している。

参考：ZUU Advisors-Support： <http://support.zuoadvisors.com/>

：ZUU online： <http://zuuonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488